

会 議 録

1 会議名

平成28年度 第2回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域協議会に関する諸事項の確認（公開）

(2) 会長、副会長の選任（公開）

(3) 協議（公開）

①地域協議会の運営について

②地域協議会の審議事項について

③地域協議会だよりの編集方法について

(4) 平成28年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成28年5月20日（金） 午後6時38分から午後8時33分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・ 委 員：伊崎博幸、石野伸二、伊藤三重子、牛木喜九、川住健作、桑山敏男
齋藤邦博、高橋敏光、高宮宏一、竹内恵市、土屋博幸、永野起男
西条聖士、村田敏昭、山口茂幸、吉村清正

・ 事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・ 16名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、会長が選任されるまで、議長は南部まちづくりセンター長が務めることを報告

【佐藤センター長】

- ・ 会議の開会を宣言

—次第2 委員自己紹介—

【佐藤センター長】

- ・ 次第2「委員自己紹介」、各委員に自己紹介を求める。

【伊崎委員】

住まいは大貫で、仕事はカイロプラクティックの店を営んでいる。委員に応募した目的は、今まで地域のことに関心だったが、若者がそんなことでは駄目だと思い、若者から地域を元気にするため、その代弁者になるためである。右も左も分からない状態である。是非ご指導よろしくお願いします。

【石野委員】

今回初めて委員に選任された。町内会長3年目になる。長く民間で勤めていたが、2年前から県上越地域振興局治水課にお世話になっている。勤務内容は柿崎川ダム管理である。

金谷区は大きな構造物に恵まれ、新幹線の駅、上越高田IC、金谷山、ダムとしては後谷ダムと正善寺ダムがあり、今後計画されている儀明川ダムもある。1つの地区に大きな物、大きな団地、郊外型のスーパーの出店もあるため、金谷区のまちづくりを上越市の中から発信し、よいまちづくりができることを目指したい。

【伊藤委員】

御殿山の伊藤です。新潟県に住んで42年になる。新潟で子ども3人を育て、今は7人の孫がいる。

現在ボランティア団体で活動しており、違う角度で今までの経験を生かしたい。

【牛木委員】

中ノ俣の牛木です。今回初めて委員になった。勉強不足であり、こういうことは不慣れなため、勉強しながら少しでも地域の役に立てればと思っている。町内会長をしているため、あれもこれもしている関係で、皆さんの期待に沿えるかどうか心配だが、よろしくお願いします。

【川住委員】

向橋の農家の次男坊として生まれ育ち、現在家族5人で住んでいる。都会生活などいろいろ経験したが、定年後は家庭菜園でゆっくり人生を送ろうと考えていた。現在はほぼ考えた通りの生活を送っている。これから少しでも地域の皆さんのお役に立てるようになりたい。今回3期目なので、今までしてきたことを皆さんに少しでも伝承できれば

と考えている。

【桑山委員】

昭和町2丁目の桑山です。昭和町に来て20年経つ。17年コンビニ店を経営しており、その力を地域で生かしたいと思い応募した。

【斎藤委員】

飯の斎藤です。昭和23年生まれの団塊世代である。町内会長に就いて3期目になるが、町内での問題に行政が絡んでくるものもあり、「地域協議会はどんなことをしているのか」と具体策を求められるため、町内や回りの人たちと連携して何かできることはないかと常日頃思っている。また、予算はどう決められているのか等、疑問に思うことがたくさんあった。地域協議会は8年目になるが、地域活動支援事業が充実していきいていると思う。何かお手伝いできれば、あるいは勉強させてもらえればと思い応募した。

【高橋委員】

御殿山町の町内会長を長年している。この金谷区は、最近商業地域も増えてきており、南北に長く、西には奥深くと、大変広い面積である。住宅地が中心だが、中山間地域も含まれる。区全体で考えると人口流出はそれほどないが、山間部から住宅地に降りてきており、奥の方が空っぽになり空き家が多くなってきている。農村部の活性化が遅れていて難しいかと思っている。また住宅地においては、せっかく若い人が入ってきても、子どもが成人するとこの地域から抜けていき、この先10年、20年するとお年寄りばかりが残るのではないかという心配もある。この金谷区は広くて課題がたくさんある中で、何とかひとつでも役に立ちたいと思い、皆さんの仲間に入れさせてもらった。

【高宮委員】

上昭和町の高宮です。当初から地域協議会委員をしている。高橋委員から話があったとおり、この金谷区は大変広いが、その中で自主的審議事項が少ない。せっかく地域協議会があるので、今期の4年間は自主的審議を中心に活動ができればと思い応募した。

【竹内委員】

昭和町1丁目の竹内です。委員をこれまで1期やらせていただいたが、本当に難しい協議会だと感じている。また皆さんと一生懸命活動を進めたい。皆さんのご意見の一部に取り入れていただけるような活動ができればと思う。

【土屋委員】

昭和町2丁目の土屋です。3月の地域協議会活動報告会と委員募集の集会に参加し、ふだんは仕事と家の行き来だけで地域で何が行われているのか分からなかったが、そこに参加し、いろいろなところでいろいろな活動がされているという報告があり、活発に活動されているなと思い、何かしら地域のためにできる一人としてそこに加わりたいと感じたことから、委員に応募した。

もう1点は、わからないことがわからないので、いろいろ感じていること言いたいことを言う場がなかなかなかったが、地域協議会という場があることを知ったので、今後

いろいろな意見等を発言しながら、できることとできないこともあるかと思うが、それも勉強だと思い4年間頑張りたい。

【永野委員】

中田原の町内会長として今年で5年目になる。生まれは中田原ではなく、川東の方である。中田原町内に来て25年。その間に、山麓線の開通、北陸新幹線の開通、高速道路の拡張と、非常にめまぐるしい中で町内役員としてずっと活動をしてきた。自分の周りだけではなく金谷区全体を見た中で、非常に問題が多いところだと感じたため、今回応募した。

【西条委員】

大貫4丁目の西条です。2年前までは大町にいて、子どもの関係で引っ越し先を探し大貫に越してきた。子どもが校区外通学で大町小学校に通っており、大人が一生懸命やっている姿を見せようと、PTA会長と副会長を歴任した。こちらに来たら、除雪が行き届いている大町とは違い、個人で除雪機を持っている方も多く、除雪が遅かったこともあり、何か言えるところはないかと思っていたところ、知り合いからこの会で意見が言えるということを聞いたため、短絡的ではあるが、地域で問題意識を持ち、こういうところで話をしていけば、上越全体から考えれば小さなことだが、そういうところから自分でアクションを起こすことで変わっていくのではないかと思い、今回初めて応募した。皆さんと4年間いろいろと意見交換をしたい。

【村田委員】

大貫4丁目平山町内会の村田です。町内会長を務めて3年目になる。みながわ製菓に勤めている。力不足だが、町内の皆さんと会社の皆さんに支えられながら務めている。この協議会においても、皆さんからご指導いただきながら、足手まといにならないようにしたい。平山に住まいを移して21年、その前の中通町には27年、合せて約50年金谷地域にお世話になっている。そういう意味で、この金谷地域に何かお役に立てればという思いで務めたいと考えている。

【山口委員】

灰塚町内会長を今年の1月から務めている。地域協議会委員は前期から4年を経過して2期目になる。他の協議会でも活発にされているが、金谷区にはまだまだいろんなアイテムがあると思う。もっと市の中でPRしながら、我々の住んでいるところの利便性を上げたいと考えている。

生まれて63年間灰塚に住んでいる。44年間企業に勤めて、昨年退職し、町内会長をしている。こういう協議会の場でも、自分の生まれ育った頃からのいろいろな問題点等も分かっているつもりなので、その中でどうしたらよいか皆さんと話し合いながら進めていければと思っている。

【吉村委員】

地頭方の吉村清正です。今回初めて参加する。地頭方は、金谷区で一番南のはずれ、上

越市の南のはずれと言っていいような場所である。先ほども話に挙がっているとおり、大きな幹線道路が金谷地区の真ん中を通っており、高速道路の I C もある。隣接地区ではあるが新幹線の駅もあり、大きな河川、ダムなど、かなりの施設がある。そういうことを諸々考えると、かなり魅力的な地域ではあると思うが、そのわりに地味な地区だという印象がある。生まれてから、学校に行っている間は少しこの地を空けたが、今日までここで生まれ育って生活してきた。この地域の活性化のために、大それたことは考えていないが、振興のきっかけの一端にでもなればと常日頃考え、皆さんとお話ししていきたいと思う。

【佐藤センター長】

- ・南部まちづくりセンターの職員紹介

—次第 3 「議題等の確認」—

【佐藤センター長】

- ・次第 3 「議題等の確認」について、資料により説明
質疑を求めるがなし。

—次第 4 議題（1）地域協議会に関する諸事項の確認—

【佐藤センター長】

次第 4 「議題（1）地域協議会に関する諸事項の確認」について、事務局に説明を求める。

【榎島係長】

資料により説明。

【佐藤センター長】

質疑を求めるがなし。

—次第 4 議題（2）会長、副会長の選任—

【佐藤センター長】

議題（2）「会長、副会長の選任」に入る。
副会長の人数について、意見を求める。

【石野委員】

1名か2名かというのは、新しく入った委員には分からないため、任期3期目の方々の意見を伺いたい。

【高橋委員】

会長は全体から出て、副会長は住所により金谷区の北・中・南から一人ずつ、計3人というのはどうか。昨年までは2名だったが、均等に出すのがよいと思い、副会長は3人がよいと思う。

【山口委員】

会長が出た地区からは副会長は出ずに、その他の地区から2名でよいと思う。

【土屋委員】

それでよいと思うが、どこが中部、南部、北部か、輪郭が分かると意見を言いやすい。前はどうか教えてほしい。

【佐藤センター長】

前回の会長・副会長の選任については、特に南部、北部、中部という区分けはなく、個人の推薦により会長1名と副会長2名となった。

【高宮委員】

金谷地区の場合、南部、中部、北部は学校区で、南部は黒田小学校、中部は高田西小学校、北部は飯小学校に分かれている。

【高橋委員】

訂正する。各地区から代表を一人ずつ出し、その中から会長を1名決め、残り2名を副会長にすれば、3地区からということになるため、副会長は2人でよい。

【佐藤センター長】

副会長は2名でよいか挙手を求め、委員全員の挙手により、副会長は2名と決する。
会長の選任方法について意見を求める。

【村田委員】

高橋委員の意見の中で、南・中・北の3地域からそれぞれ代表を選任し、その3人の中から互選で会長を選んだらどうかという含みがあったように思う

【高橋委員】

それでよい。

【村田委員】

その方法でよいと思う。まず3人を選出し、その3人の中で互選をして会長を選出する。その方がスムーズに決まると思う。

【佐藤センター長】

他に意見を求めるがなし。

村田委員が提案した方法でよいか挙手を求め、全員の挙手により、南部・北部・中部か

ら1名ずつ代表を選出し、その中から正副会長を選任することに決する。

— 委員による協議 —

【佐藤センター長】

協議の結果、会長は高宮委員、副会長は川住委員と村田委員と報告があったことについて承認を求め、委員全員の拍手により承認される。

【佐藤センター長】

正副会長に挨拶を求める。

【高宮会長】

上昭和町の町内会長として11年目になる。金谷区は南から北まで大変広い。しかも小学校区が3つある。まとめていくのはなかなか大変なエリアである。その中で、後からいろいろ議題が出てくるかと思うが、金谷区における自主的審議を市の方に提案して、南部、中部、北部が互いに良くなるような形を作りあげたいと感じている。その辺を皆さんからご協力いただきたいと思う。皆さんから力を借りて、少しでも金谷区を良くしていきたい。

【川住副会長】

向橋の町内会長に就き今年で6年目になる。その他に金谷地区振興協議会の事務幹事をしている。将来向橋地区には儀明川ダムが建設されるということで、期成同盟会の副会長の立場である。いろいろ役をしているため、これ以上すると時間が取れなくなる。

先ほど、北部、中部、南部ということがあったが、振興協議会では町内会別で分けている。今期の協議会委員を、振興協議会の区分で分けると、南部5名、中部4名、北部7名、また経験者が5名、新しい委員が11名である。ほぼバランス良く地区別に分かれており、今後、人の和を大事にしながら会議を進めていきたい。

【村田副会長】

先程、正副会長選出の際、学校区ということで私が意見を出した結果、私の高田西小学校区は委員が3人だった。他の2人は私より若く年齢で負けてしまったため、このような選任になった。委員として今回初めての私が、この副会長の席に座るのは非常に恥ずかしい限りだが、私の今年のキャッチフレーズは「歳を見せない男」ということで、頑張っていきたいと思う。川住副会長は70歳近いということで、私も決して負けない年齢だが、頑張っていきたい。

【佐藤センター長】

条例により、今後の議長は、高宮会長にお願いする。

— 休憩 —

—次第4議題（3）協議①地域協議会の運営について—

【高宮会長】

議題（3）協議①「地域協議会の運営について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明。

【高宮会長】

座席順について、これまでの名簿順の他の意見を求める。

（「名簿順に異議なし」と言う声が複数あり）

【高宮会長】

名簿順でよいか諮り委員全員の了承を得たことから、座席順は名簿順と決する。

会長に会議を招集することを請求するために必要な委員数について、これまでは4分の1以上の5人以上としており、それにならうと今期は4人以上となるが、他に意見はないか求める。

（「これまでと同じで異議なし」と言う声が複数あり）

【高宮会長】

会長に会議を招集することを請求するために必要な委員数は4人以上とすることを諮り、委員全員の承認を得る。

会議録の確認者について意見を求める。

【吉村委員】

どのタイミングで確認するのか。会議が終わった時点で居残って確認するのか。

【榎島係長】

会議録の確認は、会議が終わったあと、事務局で1週間か2週間後に会議録を作る。それを送り内容を読んでいただき、間違いがないという返事をいただく。これが会議録の確認の作業である。

【吉村委員】

文書のやり取りということか。

【榎島係長】

そのとおり。

【吉村委員】

承知した。

【石野委員】

2人の署名人は、その会議に出席しなかったら確認できない。

【榎島係長】

会議の冒頭に、出席者の中から会議録の確認者をお願いする。欠席の場合は名簿の次の委員をお願いするため、その心配はない。

【高宮会長】

これまでと同様でよいか委員に諮り了承を得たことから、会議録の確認者は正副会長を除いた名簿順と決する。

本日の会議録の確認者を伊崎委員と石野委員に依頼する。

会議の開催方法について、意見を求める。

【石野委員】

4月から10月までは問題ないが、11月から3月は、午後1時半開始だと勤めの関係で間に合わないので、午後3時開始など若干遅らせることは可能か。11月から3月の5回の会議は、実際どのくらいの時間がかかっているのか。1時間半程度の会議であれば、少し遅らせることはできないか。

【村田副会長】

私も石野委員と同意見である。11月からだと、11月、12月、1月、2月、3月と、1年のうち5回も午後1時半開始となる。今年のように暖冬であれば、それほど足元は悪くない。できる範囲でよいが、午後3時や4時ぐらいからだありがたい。

【榎島係長】

昨年冬の間の会議時間だが、1時間から1時間半程度だった。

会議の開催時刻は、ここで皆さんがゼロベースで決めていただくことである。

【高宮会長】

中ノ俣から通う委員が冬場の山を越えて来なければならず、帰りが遅くなった場合の心配があったため、この時間をお願いしていたが、今回は若い方がいるため、勤務の関係も出てくるかと思う。

【山口委員】

以前勤めていたところは、午後3時からフレックスタイムの会社だったため、3時開始であればフレックスを取りやすかったが、午後1時半からだ半日休暇を取らなければいけない。これが5、6回あると、勤務に影響があると発言したことがある。しかし、中ノ俣から女性の委員が来られているということで、いろいろ論議した中で、半年を夜、半年を昼間とした経緯がある。

しかし、時間を1時間や2時間遅らせて、午後3時であれば、私はよいと思う。

【土屋委員】

昼間で支障がある方はどれくらいいるか。

【高宮会長】

昼間の開催で支障がある方の挙手を求める。

(4人挙手)

【吉村委員】

私も今、手を挙げたが、昼の立ち上がりの時間帯は厳しい。足元の明るいうちに会議が終わるくらいの時間を逆読みすると、例えば、午後3時や3時半くらいだと何とかやりくりつけられる。午後1時半というとな後の始業の時間なので難しい。

【高橋委員】

会議の時間は、当初は午後1時半からだった。というのは、出たいけど出られない人がいるとかいないとかの問題ではない。募集の際には、何時から会議が始まるとか、細かいことは決まっていなかった。だから、そのつもりで応募して委員になったと思うが、それが今ここにきて昼間でないといけないとか、そういうこと自体がおかしい。それでも、若い人が加わったため、夏場は午後6時から始めることには賛成である。市の職員の人件費を考えると、我々はいつ出ても1,200円だが、市の職員は夜となると大変だと思う。市役所は午後5時には閉まるため、午後5時までに会議を終わらせるには、今まで通りの時間でよいと思う。ただ、夏場は午後6時からでよい。

【石野委員】

資料No.1の開始時刻には原則と書いてある。その時の状況を踏まえて、例えば11月には雪は降らないし、昨年や一昨年は12月もそうだった。そのため、開始時刻を早めるのは1月からの3か月間にするのはどうか。午後3時開始が一番よい。

【村田副会長】

午後3時開始を提案する。1時間半、遅くとも2時間で終わるのであれば、午後5時に終了するため、市役所の終業の午後5時という時間にも合致する。午後1時半から会議をして、午後3時過ぎに終えて、残りの時間が余るよりも、午後3時開始が良い。

【齋藤委員】

午後3時からがよい。

【牛木委員】

午後3時に賛同する。

【高宮会長】

午後3時からがよい方の挙手を求める。

(14名挙手)

【高宮会長】

午後3時からが多数であることから、11月から3月までは午後3時開始と決する。

会議の定例化について、これまでと同じ毎月第4水曜日に開催することについて諮り、委員全員の了承を得たことから、毎月第4水曜日に定例開催することと決する。

会議の会場について、前期と同じ福祉交流プラザとすることでよいか諮り、委員全員の了承を得たことから、会場は福祉交流プラザと決する。

一次第4議題（3）協議②地域協議会の審議事項について一

【高宮会長】

議題（3）協議②「地域協議会の審議事項について」、事務局に説明を求める。

【榎島係長】

資料により説明。

【高宮会長】

市からの諮問事項について質疑を求めるがなし。

自主的審議事項について質疑を求めるがなし。

地域活動支援事業について質疑を求めるがなし。

自主的審議事項の提案方法は事務局提案のとおりでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

一次第4議題（3）協議③地域協議会だよりの編集方法について一

【高宮会長】

議題（3）協議③「地域協議会だよりの編集方法について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

編集委員の役割について事務局に説明を求める。

【榎島係長】

実際に編集委員にお願いしてきた作業内容は、事務局が地域協議会だよりの原稿案を作成し、そちらをご覧ください、意見があれば返していただくものである。一から原稿を書くという部分については、事務局で準備させていただきたい。

【高宮会長】

編集委員の人数と任期について、それぞれ4名と4年間でよいか諮り、委員全員の了承を得る。

次に、編集委員の選任に入る。

協議会だよりは読んだことがあると思うが、住民の方も大変興味深く見ている。地域を回ると、「高宮さん出ていましたね」というような声があり、また分からないところがあると「これは何ですか」という質問を受け、説明をした経験がある。大変勉強になるかと思っている。

やってみたい方は挙手願う。

【土屋委員】

私やります。

【高宮会長】

山口委員どうか。

【山口委員】

前の期もやりましたが、やります。

【高橋委員】

西條委員どうか。

【西條委員】

やります。

【高宮会長】

斎藤委員どうか。

【斎藤委員】

はい。

【高宮会長】

それでは、編集委員は土屋委員、西條委員、山口委員、斎藤委員の4名にお願いする。新聞の作り方、見方、出し方の勉強にもなるかと思う。おおいに参考にさせていただきたい。

たよりの発行回数について、年4回でよいか諮り委員全員の了承を得たことから、年4回発行と決する。

—次第5 平成28年度地域活動支援事業について—

【高宮会長】

次第5「平成28年度地域活動支援事業について」、事務局に説明を求める。

【榎島係長】

資料により説明

【高宮会長】

今年度の地域活動支援事業の審査・採択のルールについて、事務局の説明のとおりでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

質疑を求める。

【石野委員】

当日配布資料No.1の後についている資料は、市へ提出されている資料全ての写しか。

【榎島係長】

提案団体からは、こちらに印刷してある資料の他に、会の会則と見積書をいただいて

いるが、審査採択に直接必要な資料ではないということと、内容を事務局で確認し適正適切だということで、配布は省略している。

【石野委員】

補助額の検討という部分で、当日にこの中身を見て、これはおかしいのではないかと判断するのか。

【槇島係長】

本日お配りしたので一度ご覧いただきたい。ご覧いただいた中で疑問点があれば、あらかじめ印等を付けていただき、質疑の中で提案者にお聞きいただきたい。

【高宮会長】

前もって事務局から配布される資料を熟読し、質問、疑問等々が浮かんでくるかと思うので、審議の時に、説明者に「これはどうなのか」と質問をして、納得する、違うのではないかという意見を出していただく。そのため、前もって配布された資料を熟読していただきたい。今回も、次回の資料が配られたので、帰って良く読んでいただきたい。

他に意見を求めるがなし。

—次第6 その他—

【高宮会長】

次第6「その他」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

今後の日程について、協議をお願いする。

【高宮会長】

- ・ 次回の地域協議会：6月9日（木）午後6時から 上越市福祉交流プラザ
- 事務連絡について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・ 委員名刺の希望調査：提出期限5月31日
- ・ 地域協議会だよりの原稿依頼：提出期限5月31日

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求める。

【土屋委員】

名刺はどういう時に使うか。

【槇島係長】

地域協議会委員という肩書の付いた名刺になるため、地域協議会委員として情報収集を行う場合や勉強する場合に、相手となる方に身分を伝えるために利用いただきたい。

委員としての立場でない時には、使用は控えていただきたい。

【吉村委員】

前期から委員をされている方に聞きたいが、名刺を使う機会はあるか。

【川住副会長】

地域協議会の名刺を出す機会はそんなにない。情報収集といっても顔見知りの場合が多い。4年間で100枚程度あれば十分だと思う。

【山口委員】

改選前に作ったものと変わっているか。

【榎島係長】

改選前と基本的に同じである。

【高宮会長】

他に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。